

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



# 日造協ニュース

2021.11月 通巻 第572号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>  
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

- 本号の主な内容
- 2面 【学会の目・眼・芽】実像と情報による緑の景観づくり  
(公社)日本造園学会理事 筑波大学大学院准教授 伊藤 弘
  - 2・3面 全国造園フェスティバル コロナ禍で例年の半数 29カ所で開催  
公園・みどりの素晴らしさや造園をアピール 秋田、茨城、和歌山
  - 3面 【アフターコロナに向けて】web活用 開園時の来園動機に
  - 4面 【ふるさと自慢】漁業と柑橘栽培が盛んな海と山に囲まれた八幡浜市  
愛媛県支部 二宮さよみ (有)日進緑地
  - 【緑滴】Ole! 魅惑のラメンコ♪  
埼玉県支部 山田(田村)美弥 (株)庭研

お陰様で（一社）日本造園建設業協会は2021年11月に創立50周年を迎えました。記念行事は2022年の総会を中心に実施予定です。

## 「ひろげよう 育てようみどりの都市」全国大会 国土交通大臣表彰など会員が各賞を受賞



全国大会で挨拶する有路信（一社）日本公園緑地協会会長

「ひろげよう 育てようみどりの都市」全国大会は10月29日、東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館で開催された。午前中の事例発表会に続き、午後からの大会は冒頭、主催者の有路信（一社）日本公園緑地協会会長が、コロナ禍で公園緑地の重要性が再認識され、国土交通省をはじめ、地方公共団体の取り組みによって充実してきており、安全で快適な生活空間、良好な景観の創出が図られている。こうした取り組みは、第1部の「公園緑地関連三賞受賞作品発表会」で、事例発表が行われ、第2部でも表彰の後、受賞作品の報告と、久野譜也筑波大学学院教授から貴重なご講演をいたただくこととしており、本日の大会を実りあるものにしていただきたいとの旨を述べた。

次いで、ご来賓の宇野善昌国土交通省都市局長が、斎藤鉄夫国土交通大臣のご祝辞を代読。公園緑地は、激甚化する自然災害に対応した防災・減災、国土強靭化など、安心できる国土づくりを進めていく上で必要不可欠である。また、歴史や文化に根ざした美しい緑や公園は、地域の魅力を高める資源として、観光先進国を実現する上でも重要な存在であり、さらにコロナ禍において都市公園等は貴重な屋外空間として機能しており、住民の健康的な生活を維持する観点からも重要性が再認識されている。10月は都市緑化月間であり、その中心行事である本大会を契機にみどり豊かなまちづくりが推進されることを期待している。各賞を受賞された方々の活動を讃えるとともに、皆様の活躍を願っていると述べた。

表彰の後は、受賞者の報告と久野譜也筑波大学学院教授による「新しい生活様式に応じた健幸都市（ウォーカブルシティ）づくりと題した講演が行われた。

## 秋の叙勲・褒章7氏受章

2021秋の叙勲・褒章受章者が発表され、日造協関係では、7氏が受章の栄に輝いた。

【旭日双光章】大場啓壽氏 (73) 元青葉造園(株)代表取締役 (宮城県)、前田俊満氏 (73) 元(株)庭萬社長 (岐阜県)、松本



大場 啓壽 氏



前田 俊満 氏



松本 昭広 氏



山村文志郎 氏



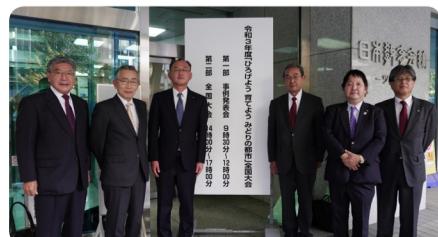
高梨 雅明 氏



松田 司 氏



松村 昭一 氏



都市緑化功労者表彰受賞者を囲み記念撮影

## 「日造協」創立50周年を迎えて

（一社）日本造園建設業協会会長 和田新也



（一社）日本造園建設業協会は、この11月4日で創立50年を迎えることとなりました。これも国土交通省を始め、多くの関係する皆様からの長きにわたるご指導、ご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

これまでの日造協の歩みを振り返りますと、先人達が一致団結し、造園建設業を一つの独立した業種としての地位を確立させ、技術の研鑽に努め、人材を育成し、幅広い方々から業界に対する理解と信頼を得てきた活動の歴史であることが分かります。これまで力をあわせ活動していただきました会員の皆さまに深く感謝申し上げます。

ここに協会創立50周年を迎え、改めて、諸先輩方の志を引き継ぎ、社会を取り巻く環境変化に対応しながら造園業界の明るい将来に向けた諸活動をさらに展開させねばならないとの思いを強くするところです。

近年での一番の出来事は、新型コロナウイルスの世界的流行ですが、コロナ禍のなか、我々が携わる身近な公園や緑地などが、人々の健全な生活にとって不可欠な生活基盤であることの再認識が進みました。また、持続可能な社会の構築に向けたSDGsやカーボンニュートラル、デジタル化社会への対応、頻発化する自然災害への防災・減災対策、グリーンインフラの推進などに対する社会的関心も高まってきており、これらに向けた取組み・投資、イノベーションが加速すると予測されます。

これらの時代のニーズを捉え、新たな活動領域を自ら開拓していく気概をもち、緑豊かな環境整備の重要性について各方面に働きかけ、率先して取り組んでまいります。

そのためには、様々な課題に応え得るように先人達から引きついだ造園技術・技能の継承とともに、それらを発展させていくことが重要です。日造協では、造園業界の技術力、企業力の向上、人材の育成に向け、これまでにも造

園施工管理技士、街路樹剪定士、植栽基盤診断士などの資格取得の促進や、登録基幹技能者講習、新たな制度・技術に対応した講習・研修会の実施、造園CPD制度の促進などに取り組んできていますが、更に充実させていきたいと思います。

我が国の就業構造変化への対応も大きな課題です。超少子高齢社会が到来し、造園業界の発展のためには、働き方改革、担い手の育成・確保が喫緊の課題となっています。身近なところでは、建設業界で導入が進められている建設キャリアアップシステム、墜落制止用器具等の労働安全衛生対策の強化、さらには令和6年度からの時間外労働規制の建設業界への適用など就労環境整備がさし迫っています。造園業界としても、自らの社会的責任と経営力の向上のため、これらの変化に適切に対応していかねばなりません。日造協では、魅力ある造園建設業界の創造に向け、次代を担う地域リーダーズ、女性活躍推進部会が関係団体と連携しつつ、造園業界をリードする幅広い活動を行っています。

また、2027年の横浜国際園芸博覧会の開催招致が進んでおります。横浜国際園芸博覧会は、SDGsの実現やグリーン社会に向けた日本モデルの実現・主流化の流れを加速するとともに、開催を契機とした造園領域の新たな展開も期待されるところです。AIPH(国際園芸家協会)日本代表として横浜国際園芸博覧会の開催支援に取り組んでまいりたいと考えています。

以上述べてきた課題の多くは一企業や一地域では解決できなかった、または解決できないものであり、全国組織としての日造協の役割はますます重要なとなります。造園建設業の発展と社会的使命をはたすべく会員の皆様と共に協会活動に取り組んでまいりますので、今後共一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

## 2022新年造園人の集い

### 【開催中止】 のお知らせ

毎年恒例の「新年造園人の集い」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

# 公園・みどりの素晴らしさや造園をアピール

全国造園フェスティバル 2021 コロナ禍で例年の半数 29 力所で開催

「花と緑で美しい日本を！」をテーマに公園や広場で、造園の素晴らしさ、造園技術などを知っていただこうと日造協は「全国造園フェスティバル」を毎年開催しています。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催数は例年より少なかったが、“3密”にならない公園緑地への関心が高まっています。今年度実施したその一部を紹介します。

**【秋田】地蔵田遺跡に隣接する御所野総合公園にて開催**

## 冬囲いのための縄の結び方などを伝授

10月3日(日)、秋田市総合振興公社主催の「花とみどりのふれあいまつり」に共催として、地蔵田遺跡に隣接する秋田市御所野総合公園にて全国造園フェスティバル2021を開催しました。

地蔵田遺跡は、国の史跡にも指定されている旧石器時代、縄文時代、弥生時代

の複合遺跡で、たくさんの土器や土偶が出土しており、中でも弥生時代の木柵で囲まれた集落跡（弥生っこ村）は全国的にも例のないものです。

秋田県支部では毎年、全国造園フェスティバルをこの形で開催してきておりましたが、昨年は台風の影響で開催すること

が出来ず、2年ぶりの開催となりました。

今年は、まもなく訪れる冬将軍に備え、冬囲い講習会「縄での男結びや低木の縄巻き2回絞りを覚えよう」や造園に関するアンケート調査を実施し、アンケートに答えた方にお礼



弥生っこ村



アンケート調査

として本部支給の花の種や紙袋、自前で用意した軍手、ゴム手袋を差し上げました。

当日は晴天に恵まれ、開始時間の9時30分よりも30分以上前から長蛇の列ができる盛況ぶりで、プレゼントは1時間も経たずなくなっていました。

アンケート結果から秋田県支部に望むイベントとして、ミニ庭園の展示や剪定講習会の開催などが多く記載されておりました。

緑の相談所も開設し、数々の相談を受けました。今回もありましたが、近年特に多く持ち込まれる相談に、「子供が免許を取ったので駐車スペースを確保する

ため、庭木や庭石を引き取ってもらえないか」というものがあり、支部会員で対応を検討しているところですが、結局、引き取っても使うところが無く、残念ながら、お断りしているのが現状です。

今回は新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中での開催となり、参加者にはマスク着用やソーシャルディスタンスをお願いし、検温や手の消毒などを行うとともに、できるだけ大きな声を出さないように心掛けたものになりましたが、来年は晴天のもと、マスクも付けないで大きな声で楽しく会話できるイベントになればいいなと祈っているところです。

秋田県支部事務局



冬囲い講習会の様子

## 【茨城】日本三名園「偕楽園」の猩々梅林・芝生広場を会場に 体験型のイベントが来園者に大好評

10月17日(日)、昨年に引き続きコロナ禍の中「全国造園フェスティバル2021」を開催しました。

来園されるお客様やスタッフも安心してイベントに参加出来るように、ガイドラインに沿って感染防止対策に努めながら実施しました。



「苔玉作り体験」の様子

茨城支部は日本三名園である水戸偕楽園の南側に拡張整備された公園「猩々梅林」(2.6ha)内の芝生広場にて「苔玉作り体験」、「丸太切り大会」、「高所作業車乗車体験」「緑の相談窓口」などのイベントを行いました。

その中でも苔玉作りは毎年子供から大人



までとても人気のあるイベントで、今年は3密を避けるために人数を制限しての実施でしたが、毎年楽しみにしてくださっている方も多く、「雨の中、来て良かった！！また来年も来ます」との声も掛けていただきました。

昨年より始めた高所作業車乗車体験は、普段乗ることのない高所作業車に乗ることができるとあり子供たちにも大人気で、安全ベルト・ヘルメット着用で、資格を持った技術者が同乗して12m上空に…。上空から見下ろす偕楽園、千波湖、水戸の街並はなかなか見ることのできない壮大な景色です。

また、丸太切り大会では、なかなか切れない丸太に親子が力を合わせて頑張っていました。このような体験型のイベントは来園者にとても楽しんでいただけたようです。

コロナ禍でいろいろなことが制限され、息苦しい毎日を過ごしている中、自然の中で少しでも緑を感じていただけるお手伝いができて良かったです。



写真映えするスポットも人気

今年の造園フェスティバルは朝から冷たい雨に降られてしまい来園者がいないのではないかと心配しましたが、そんな中でも楽しみに来園していただいた方がいたことはとても嬉しかったです。

来年は天候にも恵まれコロナ感染症も終息し、以前のように「寄植え教室」、「クリスマスミニツリー作成」など体験型のイベント内容をより充実し、人と緑に触れ合う造園フェスティバルが開催できることを願っています。

(株)タナカ築庭 宇留野恵都美

学会の目・眼・芽 第122回

## 実像と情報による緑の景観づくり

(公社)日本造園学会理事 筑波大学大学院准教授 伊藤 弘

コロナ禍になり、大学ではオンライン講義が、会社ではオンライン会議が当たり前になりつつあると思います。日造協ニュース571号の紙面でも、人材育成研修がWEBで試行されることが掲載されていました。

大学で研究室に所属している学生の論文指導をしていると、こちらのニュースがうまく伝わっていない、学生の考えていることが把握しきれていなことを感じております。

当然、オンラインでのやり方がうまくないこともあるとは思いますが、結局パソコンやスマホなどを介するということは、0か1の世界（論文指導で

言えば、研究について打ち合わせするかしないかの二者択一）なんだな、と感じています。私のコロナ禍以前の状況を思い出すと、学生と偶然廊下でそれ違った時の、雑談の中から発想することもあったように思います。

既に指摘されているように、人が密になることを避けたり、マイクロツーリズムにおいて公園緑地の必要性が示されたりするなど、緑の景観や環境の社会的意義が高まっているといえます。



景観は、有形の実像と無形の情報を人が組み合わせて受け止め、成立していることが指摘されています（下村彰

男「実践風景計画」2019、朝倉書店）。ここでいう情報とは、実像を形成してきた歴史や社会的背景です。現在、文化的景観に象徴されるように、情報の比重が大きくなっています。

先に述べたように、オンラインで会議が行われ、オンラインツアーなども企画されるようになった現在、造園においてもICT（情報通信技術）を利用した新たな景観づくりを検討してもいいように思います。



先述した日造協ニュース571号には、国際園芸協会（AIPH）の会議がオンラインで行われ、バーチャル空間内で参加者がアバターを作りて参加している様子も紹介されていました（あまり評価はよくありませんでした）。

コロナ禍で非常事態宣言が発令され

た時でさえも、公園に出かけた人たちがいたことを考えると、緑の環境は人間が本能的に欲するものといえます。

こうした緑の環境に対して、人はその中にいるとそれぞれの特徴は分かりづらいものです。

さまざまな緑の環境を比較したり周辺の社会環境とともに俯瞰したりすることで、利用者は、それぞれの独自性（情報）を見出し、緑の景観が生み出されると考えられます。

ICTを用いて、周辺環境と共にさまざまな緑の環境を提示することで、その多様性と独自性を利用者が知ることができます。各自の利用目的に合った豊かな緑の景観が生み出されるのではないかでしょうか。豊かな緑の景観を生み出す新たな仕掛けについて、今後考えていくべきだと思っています。

## 全国造園フェスティバル2021開催日、開催会場一覧

地域	開催日	開催場所
新潟	10/2	国営越後丘陵公園
東京	10/2	日比谷公園
秋田	10/3	御所野総合公園
千葉	10/4'5	千葉県立行田公園
高知	10/8	中央公園
和歌山	10/9	和歌山マリーナシティイコラストリート
山口	10/9'10	海峡ゆめ広場
宮城	10/9	国営みちのく杜の湖畔公園

地域	開催日	開催場所
徳島	10/10	あすたむらんど徳島
石川	10/10	奥卯辰山健民公園
熊本	10/10	水前寺江津湖公園広木地区
千葉	10/10	県立北総花の丘公園
福島	10/10	開成山公園
富山	10/13	富山県民会館
兵庫	10/16	淡路花博20周年記念花みどりフェア洲本会場
香川	10/16	国営讃岐まんのう公園

地域	開催日	開催場所
山梨	10/16	小瀬スポーツ公園
静岡	10/16'17	浜松アクト通り
茨城	10/17	偕楽園
福井	10/19	福井市市民ホール
長崎	10/22'25	長崎県庁
千葉	10/23'24	船橋天沼弁天池公園
石川	10/24	犀川緑地
東京	10/24	豊洲公園

## 【和歌山】和歌山マリーナシティで2年ぶりのフェスを開催 造園の魅力をアピール、園芸相談にも対応

和歌山県支部は10月9日(土)、午後2時から2年ぶりの開催となる「全国造園フェスティバル2021」を和歌山マリーナシティで開催いたしました。

この会場は、和歌山県が自然あふれる土地柄を活かしたリゾート型IR誘致を目指している人工島で1994年に「世界リゾート博覧会」が開催された場所です。

当日は午後1時にマスク着用で和歌山マリーナシティヨット俱楽部に役員が集合し、検温を済ませてから材料を小運搬しながら会場ブースへと向かいました。

毎年、ブース内での花の種子やミニ観葉植物の無料配布は大人気で、準備中に

もかかわらずお客様が集まり始めます。

さわやかな秋日和のなか、会場周辺には、多くのお客様がすでに来場しており、海沿いの黒潮温泉や海産物とマグロの解体ショーで有名なフイッシャーマンズワーフ（黒潮市場）は、入浴客や買物客でにぎわい、徐々に活気が戻ってきたかのようでした。

しかしながら、まだまだ気の抜けない時世であり、会場ブース内ではソーシャルディスタンスを保ち、手指消毒等を実施するなど感染予防対策に注意しながら、ミニ観葉植物や花の種子の無料配布



イコラストリート



マリーナシティ



会場の様子

を行いました。

また、パネル展示やお庭の無料相談のブースを設置し、緑に関する困りごとの相談も受け付け、植木の剪定方法や管理办法などの質問にも対応しました。

展示パネルを熱心に見るお客様もいて、造園工事が植物を植えたりするだけではないということが分かってもらえたと思いますし、造園のより良い魅力をアピール出来たかと思います。

ミニ観葉植物を受け取った方々は2年前と比べて、マスクを着用しているに

もかかわらず、来場者と和歌山県支部参加者一同の微笑ましい表情が感じられるひとときでした。

夕方までには無料配布もなくなり、受け取っていただいた方々のご家庭で元気よく育てていただきたいものです。

引き続き来年の開催もできるようコロナの終息を願い、小さな緑から大きな緑まで興味の湧き出る「造園」の魅力を幅広く伝えられればと思います。

和歌山県支部長 的場 盛州

## アフターコロナに向けて コロナ禍における会員の取り組み事例

### web活用 開園時の来園動機に

広報活動部会では先頃、日造協会員を対象に「コロナ禍での公園等の活用に関する調査」を行い現在までに24件の回答をいただいております。会員の方々で関連の取り組みがございましたら、取り組みについての概要を事務局までお送りください。

森林公園里山パークス共同体（代表企業：（一財）公園財団、構成員：西武造園株式会社、株式会社プリンスホテル）では、管理を行う国営武蔵丘陵森林公园において、利用エリアの集中回避と滞在時間の分散を目的に、対象エリア（利用可能施設）を大幅に拡大した早朝開園を実施。これまでの早朝開園では利用できなかったサイクリングコースやドッグランを開放することで、来園者の増加につながった。

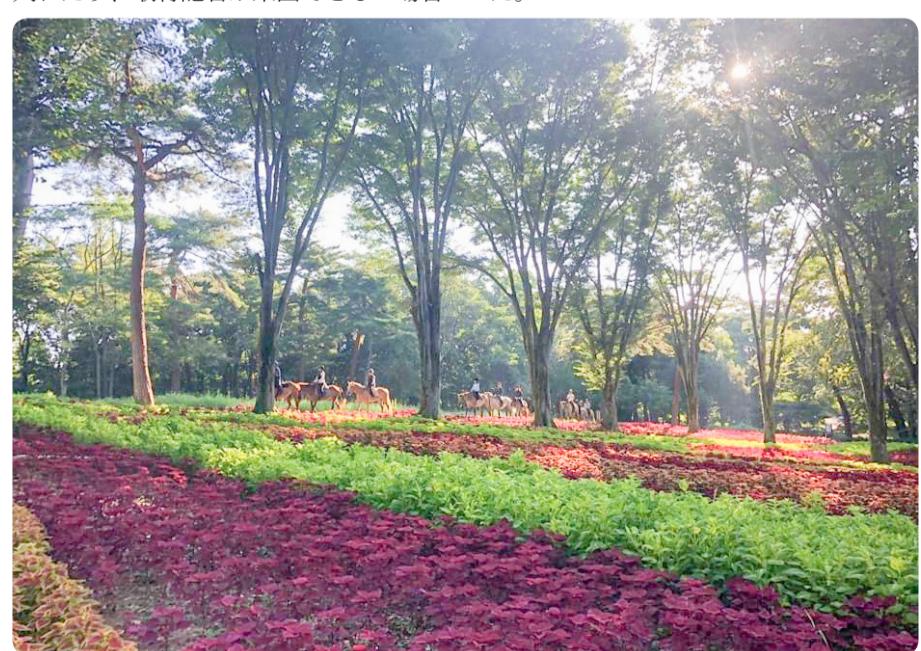
また、通常は禁止しているドローンによる撮影を臨時閉園時に積極的に受け入れたり、取材記者が来園できない場合

は、公園で撮影した動画や画像を提供することで、開園後の来園動機につなげられたという。

◆

早朝開園は、これまで夏休みの時期に合わせ、ファミリーに人気のアスレチックや水遊び場などの施設が集まるエリアのみを朝の涼しい時間に楽しんでいただくことを目的に毎年開催していた。

しかし、コロナ禍において、利用エリアや滞在時間の集中が懸念されたことから、その対策としてエリア拡大を実施した。



早朝開園（乗馬トレッキング）



取材の様子（ドローン撮影）

◆

この取り組みは、感染予防から人気施設の水遊び場を利用禁止にせざるを得なかったことから、来園者の確保と満足度の向上、新たな来園のきっかけとするための対策として考えられた。

その結果、利用者が密にならない施設で、ニーズが増えているサイクリングとドッグランに着目。早朝開園で利用時間を広げることで、より多くの利用者の来園につながった。

◆

取材対応は、これまで許可申請が必要でハードルが高く、取材受入がほとんど不可能だったドローン撮影について、撮影の許可方法を国と調整して変更し、閉園時については、先方の希望に添えるよう臨機応変に対応することが可能になった。

また、送付用には、これまで広報用に独自撮影していた動画や画像について、

日頃から撮影して、素材を集めるようにしたこと、取材者の希望に応えやすくなり、より良い映像を放送してもらえるようになったという。

◆

そのほか、公園ではホームページやSNSなど、webによる広報媒体を活用。園内の開花情報を強化し、状況により来園を即すのではなく、web上で楽しんでもらうよう調整。

来園者アンケートから、閉園時の取材対応やweb活用などの取り組みが、開園後の来園動機につながったとの結果も出ており、「コロナ禍だからこそ思いついた取り組み」だったが、今後に向けて、より魅力的な広報素材のストックを増やしていくほか、コロナ禍等の状況にあっても、創意工夫を重ね、安全かつ魅力あふれる公園づくりに努めたいとしている。

ふる  
と自慢  
愛媛県

## 漁業と柑橘栽培が盛んな 海と山に囲まれた八幡浜市



街の魅力をギュッと集めた場所 道の駅「八幡浜みなと」

愛媛県といえば「みかん」と連想される方も多いと思いますが、今回はそのみかんの中でもこたつのお供としてお馴染みの温州みかんの栽培が特に盛んな「八幡浜市」の人気スポットをご紹介いたします。

八幡浜市は海と山に囲まれた漁業と柑橘栽培が盛んな自然豊かな街です。そんな街の魅力をギュッと集めた場所が、道の駅「八幡浜みなと」です。

みなっとは複合施設になっていて、新鮮な魚を買いたい人は「どーや市場」へ、すぐに食べたいとい



「アゴラマルシェ」では、新鮮な柑橘だけでなく、フルーツソースやゼリー、ジュースなど、多種多様な产品があり、みかんジュースは圧巻の品揃え

う人は「どーや食堂」へ。

その日に水揚げされた新鮮な魚を堪能することができます。



柑橘を味わいたい人は「アゴラマルシェ」へ行けば新鮮な柑橘はもちろんですが、地元の生産者さんたちが作ったみかんゼリーやマーマレードなどの加工品も数多く取り揃えています。

特にみかんジュースのコーナーはお手ごろな価格の品から高級品まで圧巻の品揃えです。



塩パンを最初に考案した「パン・メゾン」 お薦めは焼きたて しまうおいしさです。

この他にも美しい海や懐かしいレトロな街並みなど、心安らぐ風景に出会うことができる「八幡浜市」をこたつの上のみかんを見たら思い出していただけると嬉しいです。

二宮さよみ（愛媛県支部（有）日進緑地）



Ole!

魅惑のフラメンコ♪

山田研究室  
(田村)  
埼玉県支部  
美弥部



40の手習いで（笑）、昔から憧れだったフラメンコを習い始めました。

初めて門を叩いたその日、教室HPで魅せる情熱的な姿からは思いも寄らず可愛らしい先生が出迎えて下さいました。優しそうな先生で良かった～！と思ったのは、その後ぬか喜びと化します。やはりそこはフラメンコ、情熱的な世界です。

発表会が近づくにつれ、先生の指導にも熱が入り、ダメ出しされながらの怒涛の？レッスンを終えるともうヘトヘトです。それでも時間を作つては自主練に通い、必死に練習しました。

また『エンサージョ』といって、ギタリストやカンテ（歌い手さん）をスタジオに呼んで本番ながらのリハーサルを行います。

生演奏が入るとグッと雰囲気が出てテンションが上がりります。そんな発表会前の熱を帶びた高揚感が大好きです。

初めての発表会は忘れられません。今思えばそれこそド素人で、フラメンコの『フ』の字もないタンゴであったと思いますが、初舞台で踊り切った達成感は今までに経験したことのないものでした。



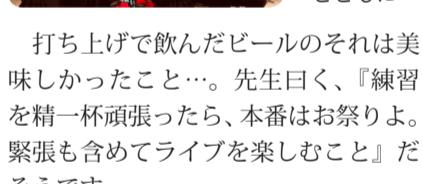
練習風景



①群舞にて



②ライブ後に仲間たちとともに



打ち上げで飲んだビールのそれは美味しかったこと…。先生曰く、『練習を精一杯頑張ったら、本番はお祭りよ。緊張も含めてライブを楽しむこと』だそうです。

そんなこんなですっかりフラメンコの魅力にはまり懲りずに今日もマスク姿でレッスンに通っております。

このご時世、今年は予定していた9月の発表会も中止となってしましましたが、近い未来コロナが明けた暁には、ライブで情熱のフラメンコを踊りたいです♪

そして、いつか本場のスペインに訪れることが今の夢です。

### 事務局の動き

#### 【11月】

- 1(月)・地域リーダーズ勉強会～11/2
- 2(火)・広報活動部会
- 4(木)・造園・環境緑化産業振興会代表者会議  
・国土交通省との意見交換会（振興会）
- 11(木)・植栽基盤診断士認定試験（実地試験）～11/13
- 15(月)・2027年国際園芸博覧会協会 設立総会
- 16(火)・全国事務局連絡会議【web】
- 18(木)・登録造園基幹技能者講習（大阪）～11/19
- 22(月)・建築工事監理指針改訂委員会 植栽及び屋上緑化分科会

- ・建築改修工事監理指針改訂委員会 植栽及び屋上緑化分科会

- 25(木)・植栽基盤診断士認定試験（実地試験・福岡）

- 26(金)・植栽基盤診断士認定試験（実地試験・大阪）

- 30(火)・URとの意見交換

#### 【12月】

- 1(木)・中国総支部との意見交換会【web】
- 2(木)・運営会議【web】
- 3(金)・安全部会
- 6(月)・造園技術フォーラム部会【web】
- 7(火)・広報活動部会
- 8(水)・第3回建専理事会

### 委員会等の活動

#### ●広報活動部会【web】

- 10/5 日造協ニュース11～2月号の内容及び令和4年新年号等について審議

#### ●植栽基盤診断士認定委員会

- 10/6 学科試験の合否判定及び実地試験の実施方法について審議

#### ●登録造園基幹技能者講習

- 10/7-8 沖縄県において講習を実施

#### ●技能五輪全国大会 造園競技委員会【web】

- 10/15 競技課題と選手からの質問への回答、当日の運営について審議

#### ●AIPH博覧会会議【web】

- 10/19 横浜園芸博覧会を含む、国際園芸博覧会（A1クラス及びBクラス）の進捗報告

#### ●AIPH総会【web】

- 10/21 規則の一部改正があり、承認スケジュール、持続性確保、出展者への情報提供などについて承認

#### ●街路樹剪定土認定委員会（試験部会）

- 10/26 街路樹剪定土研修会と認定試験の開催予定、街路樹剪定ハンドブックの改訂と講師説明会、街路樹剪定土認定試験の学科試験問題について審議

#### ●第2回50周年記念誌編集会議【協会会議室・web】

- 10/27 50周年記念誌の構成・内容を審議

#### ●第2回樹木の腐朽等への対応に関する検討委員会

- 10/28 東京国道事務所管内の街路樹について、樹木の維持管理方法及び倒木の可能性がある危険木の対応方法について、現状の課題を整理し、改善に向けて検討

## 【造園用フルハーネス型墜落制止用器具の販売】

★日造協では、技術委員会安全部会を中心に労働安全衛生規則の改正に伴い造園作業に適したフルハーネス型墜落制止用器具を開発などを進めてきました。

この度、日造協安全部会の群馬庚申園(株)様から「造園用フルハーネス型墜落制止用器具」を会員の皆様へ特別価格で提供とのご案内がありました。

ご希望の方はURL (<http://shop.kousinen.com/>) よりお申し込みください。

**編集後記** 締小開催された「全国造園フェスティバル2021」の報告にも関連しますが、マスクでの相対的表情は伝わりにくいものです。「伝えよう マスクの奥のほほえみを」このフレーズは小職の所属する企業グループのコンプライアンス標語における最優秀作品のひとつです。実質的かつ、マスク不要なアフターコロナライフに皆で備えましょう。